

できるかな？

保護者の皆様には、休業期間中、子供たちが「知る楽しさ」「学ぶ楽しさ」を味わい、学習習慣の維持、学習意欲の向上のために、ご協力いただきたいと思います。

4月16日

さて、昨日の「できるかな」はクリアできましたか。7つ全部はできていなくても大丈夫です。

1つでも2つでも知ることができましたか、覚えられましたか。今まで、知らなかったことを知ること、できなかったことが1つでもできるようになったことが大切なのです。みんなが住んでいる「東京都」は覚えておくとよいでしょう。

さて、今日は、音読に挑戦、大きな声で読まなくて大丈夫。前の学年の国語の教科書の物語・説明文の音読に挑戦です。やりやすそうなものを一つ選びましょう。一度学習しているから、内容はわかっていると思います。

「、」や「。」までは一息（ひといき）で読みます。なぜでしょう。意味のまとまりがかくれているからです。自由気ままに切ってしまうと、なんだかわからなくなってしまいます。唇の準備運動（じゅんびうんどう）をして、音読するための息をすって、始めましょう。高学年は「、」「。」までの文が長いので、意味のまとまりがわかるように上手に息をしてください。何回読んだら上手になるかな。

では、物語にチャレンジする人は、声優になったつもりで、説明文にチャレンジする人は、アナウンサーになったつもりで。1年生のみなさんは、教科書の42ページ・43ページを上手に開いてみましょう。「ごじゅうおん」を見てみましょう。あ・い・う・え・お・か・き・く・け・こ・・・・・・・・わ・を・ん、と一つ一つ指でおさえながら、たてに読んでみましょう。

ゆっくりでいいので、くりかえしてみましょう。

さあ、チャレンジしてみましょう。

4月17日

今日は算数の教科書を開いてみましょう。まずは、目次（もくじ）から、1年間で学習することがらが出ています。数のこと 計算のこと 形（図形）のこと などなど たくさんあります。習っていない漢字があり読めないものもあるかもしれません。今は、わからなくても大丈夫です。「何がわかっている」「何がわからないのか」を知っておくことが大切です。これから、どんな学習をするのか心の中にもっていると、きっとこれからの算数の学習が楽しくなってくると思います。もくじの次のページには学びの手引きが出ています。算数が得意になるコツが出ています。その一つが、「題意（だいい）をつかむ」です。

自分で読んで、どうして？ 本当かな？ どうすれば？など、心の中にこのような言葉が出てくれば・・・・・・学校が始まったときには、心の言葉が出てくるように準備をしておこう。

算数が苦手だと思っている人は、「1 2 3 4 5 6 7 8 9 0」の数字や「+ - × ÷ =」の記号を丁寧（ていねい）に書くだけで、成績アップにつながります。

では、教科書の数字の形をまねして、数字や記号をていねいに書いてみましょう。それから、定規（じょうぎ）やものさしでまっすぐな線にかくことができますか。上の学年のお兄さんやお姉さんたちは、決まった長さを測ってかいたり、コンパスを使って円をきれいかいいたりにも・・・・・・そうそう、「ものさし」と「定規（じょうぎ）」のちがいはわかりますか・・・・・・

さあ、チャレンジしてみましょう。